

こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



2月定例県議会で一般質問を行う小池正昭県議

2月県議会一般質問

A滑走路の深夜飛行制限

2019年冬ダイヤから緩和へ

成田空港を核にした千葉県発展に力を注ぐ小池正昭県議(成田市選出、2期)は2月定例県議会で一般質問に立ち、成田空港の夜間飛行制限変更に伴う課題やベトナムからの介護人材受け入れ事業、スマート農業などについて森田知事ら県執行部に質問しました。成田空港ではA滑走路の夜間飛行制限が変更されますが、小池県議は、降り立つ旅客や空港で働く従業員の深夜の交通アクセス確保対策を聞くとともに、対策の推進を要望しました。小池県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

開港から現在まで	
運用時間 6:00~23:00	便数制限 22時台は10便以下
2019年冬ダイヤ~(A滑走路のみ)	
運用時間 6:00~24:00	便数制限 撤廃

旅客、空港勤務者の交通確保は重要課題

小池議員 A滑走路における夜間飛行制限時間の変更は、成田空港にとって歴史的な転換とも言えるが、深夜時間帯における旅客や空港勤務者の交通アクセスの確保が重要である。

機能強化は空港本体と、道路・鉄道アクセスとを合わせて進めなければならぬ。特に大量輸送・定時制・速達性に優れた鉄道の利便性向上を図り、合わせてバス路線の拡充を図る必要があるが、どのような対策を講じていくのか。

羽田空港国際線増枠

成田の地位低下防げ!

小池議員 羽田空港において2020オリンピックまでに新たに国際線枠3・9万回増枠されることで成田空港への影響が懸念される。

2014年に羽田空港で国際線が増枠され、結果的に成田の路線が羽田へ移って

しまったことで成田空港のネットワークが毀損したことから、今後成田の地位低下を許すことのないように県としてしっかりと取り組み、路線の維持や新規開拓についても積極的に取り組んでいくべきであるが、県の考え方はどうか。

総合企画部長 東アジア有数の国際線基幹空港である成田空港は、我が国の国際競争力を確保し、本県や空港周辺の地域経済発展を図るための核であると認識しています。県としては、今後とも更なる機能強化の実現と空港周辺の地域づくりに向けて四者で連携して取り組むとともに、成田空港の国際線ネットワークが維持されるよう国に求めてまいります。

地域振興策実施プラン 絵にかいた餅にならないように

小池議員 成田空港の更なる機能強化を進める上で、周辺の地域振興策が重要である。県がとりまめを行う地域の振興策(仮称)実施プランについて、過去のようないかに絵にかいた餅にならないように、財源を確保し実効性を伴った計画とすべきであるが県の考え方はどうか。

森田知事 (仮称)実施プランは、具体的な地域活性化策として、更なる機能

小池まさあきプロフィール

経歴

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大 日本大学工学部卒 同大学院工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成21年6月 成田市議会議長
- 平成23年4月 県議会議員初当選(現在2期目)

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会 委員長

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。koike@ngy.3web.ne.jp

ベトナム介護人材受け入れ事業 新年度スタート 学費や居住費に手厚い支援

小池議員 平成37年度
時点の必要な介護職員確保
率が全国で最低レベルの千
葉県として、ベトナムを対象
に独自の介護人材受け入れ
事業をスタートさせる準備
が進められているが、その特
徴はどのようなものか。

健康福祉部長 千葉県留
学生受入プログラムは、国が
示す地域医療介護総合確保
基金を活用することができ
る事業を基本として構成し
ておりますが、ベトナムから
の留学生を受け入れるための
現地の日本語学校に係る学
費支援については、本県独自
の取り組みとなっております。
また、日本語学校の学費

や留学期間中の居住費に係
る県の補助割合につきまし
ても、国が示す3分の1を
2分の1に上乗せし、より手
厚い支援となっております。
さらに、本県独自に千葉
県外国人介護人材支援セン
ターを設置し、留学生や介
護分野に関わる外国人を対
象として、ベトナム語や英語
を話すことのできる相談員
が、生活面や精神面などの
様々な相談に対応すること
としております。

この介護人材の受入事業だ
が、実際に介護現場で働く
までには相当期間、必要に
なると思う。実際には最短で

からの留学生を対象とした
本語学校で1年間日本語を
学んだ後に、介護福祉士の
養成校で2年、介護の専門
知識を学び、国家資格であ

いつから就労開
始ということに
なるのか。
健康福祉部長
プログラムの
対象となります
ベトナムの留学
生ですが、現地の
日本語学校で半

に展開される中で難しい対
応にも迫られる。実際に現
場就労するには最短でも3
年半かかるとのことなので
リスクがあることも認識し
ながら県内担当職員の強
化を行いしっかりと取り組
むよう強く求める。

小池まさあき県議会レポート

健康福祉部長 千葉県留
学生受入プログラムは、国が
示す地域医療介護総合確保
基金を活用することができ
る事業を基本として構成し
ておりますが、ベトナムから
の留学生を受け入れるための
現地の日本語学校に係る学
費支援については、本県独自
の取り組みとなっております。
また、日本語学校の学費



県執行部に再質問をする小池県議

り組んでまいります。
就労開始は3年半後
再質問 小池議員
今回のベトナム

現計画は、平成26年度か
ら30年度までの5年間で、
33土地改良区の合併や解散
を目標としていたが、土
地改良区ごとに異なる賦課
金額の調整、保有財産の引
継ぎなど多くの課題があり、
実績では、目標を下回る22
土地改良区となりました。
次期統合整備基本計画に
ついては、今年度改正された
土地改良法に、准組合員制
度の創設などが盛り込まれ
たことも踏まえ、現在、策定
作業を進めています。

デュッセルドルフ市と姉妹提携 日独友好発展に寄与

小池議員 デュッセルドル
フ市との姉妹提携につい
てうかがう。これまでの交流
はどのようなものであった
のか。

総合企画部長 国際空港
や国際展示場を有するなど
本県との共通点が多い同市

との交流は、平成16年のデュ
ッセルドルフ市長の本県への
訪問をきっかけに、平成17年
から始まりました。
以来、14年間にわたり、県
では、現地で毎年開催される
大型の日本文化紹介イベン
ト「日本デー」に出展してま

いりました。また、経済や学
術に加え、オーケストラの相
互公演、卓球・テニス・サッカ
ーなど多くの分野で青少年
をはじめとする県民主体の
活発な交流が続いてまいり
ました。

な交流を目指していくのか。
総合企画部長 今回の姉
妹提携により、県民の国際
交流や本県の情報発信のた
めの拠点を将来にわたって
確保することができ、また、
ヨーロッパにおいて県が事業
を展開する際、デュッセルド
ルフ市の二層の協力が期待
されることです。

ととともに、日独並びに両県
市の友好関係の一層の発展
につなげてまいりたいと考え
ております。

小池議員 今後どのよう
な交流を目指しているのか。
総合企画部長 今回の姉
妹提携により、県民の国際
交流や本県の情報発信のた
めの拠点を将来にわたって
確保することができ、また、
ヨーロッパにおいて県が事業
を展開する際、デュッセルド
ルフ市の二層の協力が期待
されることです。

要 携の意義を長く維持
するのは難しい。現にブラジ
ルパラ州との交流は全く
行われていない。県としての
国際展開をより積極的に求
めるが、今回の姉妹提携が
10年後、20年後もその意義
が理解され双方の利益とな
るような交流に発展するよ
う努めて欲しい。

要 開始するベトナム介
護人材受け入れ事業は新し
い政策であり評価するが、
人材獲得合戦が海外を舞台

要 開始するベトナム介
護人材受け入れ事業は新し
い政策であり評価するが、
人材獲得合戦が海外を舞台

要 開始するベトナム介
護人材受け入れ事業は新し
い政策であり評価するが、
人材獲得合戦が海外を舞台

GPS搭載田植え機 作業時間2割短縮

スマート農業実証実験
小池議員 スマート農業
導入実証事業の今年度の取
り組み状況はどうか。
農林水産部長 スマート
農業機器は、生産状況などに
よって効果が異なることから
湿田が多く、区画が比較的
小さいなどの本県のほ場の特
性がある中で、どのような利
点や問題点があるのかを現
地で調査してきたところです。
まず、GPSを活用した
田植え機では、作業時間が
2割程度短縮されること、
経験の浅いオペレーターで
も精度の高い作業を容易に
行うことができることを確

成校、そして介護施設と連
携して、しっかりと留学生を
サポートしてまいります。
小池議員 新年度
開始するベトナム介
護人材受け入れ事業は新し
い政策であり評価するが、
人材獲得合戦が海外を舞台

土地改良区統合・廃止 5年間で22改良区

小池議員 土地改良区の
統合整備の現状はどうか。
農林水産部長 県では、
土地改良区の運営基盤や執
行体制の強化を図るため、
平成3年3月に千葉県土地
改良区統合整備基本計画を
策定し、合併や解散の意向
のある土地改良区に対して、
推進協議会の設置や、手続
きについての指導など支援
を行ってきました。

一方、肥料の量を自動で調
節できる田植え機では、基盤
整備直後のような土質が不
均一なほ場においては、オペ
レーターが機械を綿密に調
整しないと生育にはばつきを
生じてしまうなどの問題点
が明らかになったところです。
小池議員 スマート農業
をさらに進めていくために
は、今後どのように取り組ん
でいくのか。
農林水産部長 今年度、
問題点が明らかになった取り
組みについては、引き続き、そ
の解決に向けて、ほ場の条件
や作業方法などを変えなが
ら、調査を重ねてまいります。
また、ハウス内の炭酸ガス
濃度を自動で制御すること
により園芸作物の収量が増
加することが既に実証されて
いる装置などにつきまして
は、今年度に引き続き、農家への
導入を支援してまいります。
さらに、気象データやドロ
ーンで撮影した画像から判
別した生育データを活用し、
水稲や園芸作物の収穫期、
また病害虫の発生時期等を
予測する技術の研究を進め
るとともに、今後も新たな機
器の導入に向け、現地での調
査に取り組んでまいります。